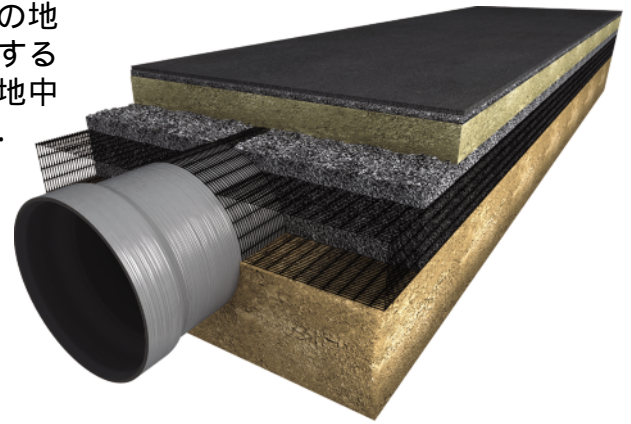


パイプライン浅埋設工法

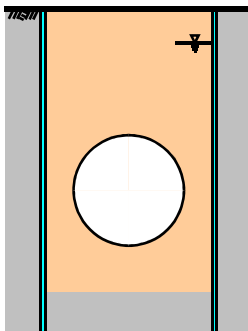
浅埋設工法は、パイプラインやボックスカルバートなどの地中構造物周辺の地盤をジオテキスタイルによって一体化することによって、パイプと地盤の変形を抑制し、地震時の地中構造物の浮上や蛇行を防止する耐震性に優れた工法です。



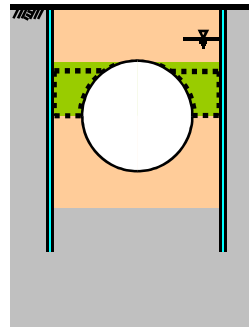
【特長】

- 建設コストの縮減
- 施工断面縮小と施工期間を短縮
- 地震時の安全性の向上
- 環境負荷の低減

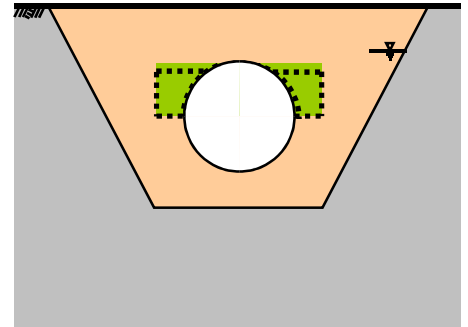
従来工法



矢板施工の場合の浅埋設工法



開削工法の場合の浅埋設工法



コスト縮減率

100%

85%

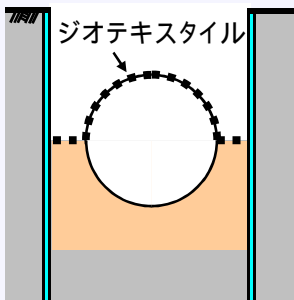
65%

- ・長い矢板の使用
- ・深い掘削が必要
- ・大量の購入砂が必要
- ・大きな重機が必要
- ・工事期間が長くなる

- ・短い矢板の使用
- ・掘削断面の縮小

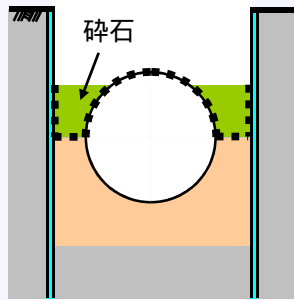
- ・矢板が不必要
- ・掘削断面が縮小
- ・購入砂が少なくなる
- ・工事期間が縮小
- ・全体の工事が簡便

施工の手順



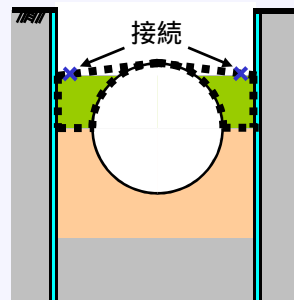
ジオテキスタイルの敷設(下層)

ジオテキスタイルをパイプに被せる



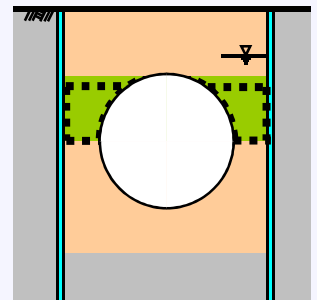
砕石撒き出し、転圧

下層のジオテキスタイル上に砕石を投入し締固める



ジオテキスタイルの敷設(上層)

管頂より一段下まで砕石層を設置し、上部のジオテキスタイルを敷設し接続する



管上部埋戻し

管頂まで砕石を投入し、管上部は良質の発生土などで締固める



ジオテキスタイルの敷設



砕石の撒き出し、転圧



ジオテキスタイルの接続



砕石の撒き出し、転圧